

平成24年度 第2回

福岡市中央卸売市場開設運営協議会

【日時】 平成25年2月1日（金）
15時00分～

【場所】 福岡市中央区長浜3丁目11-3
福岡市中央卸売市場鮮魚市場会館 2階 第1会議室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 開設者挨拶

3. 報 告

報告事項1 新青果市場整備事業の進捗状況について …………… 1

4. そ の 他

(参考資料) 平成24年度福岡市中央卸売市場開設運営協議会委員名簿 …… 10

(参考資料) 各市場取扱状況 …………… 11

5. 閉 会

(別冊資料)

・福岡市青果市場経営展望

報告事項 1 新青果市場整備事業の進捗状況について

● 新市場の基本的な考え方及び方向性（ソフト面）

（1）「福岡市青果市場経営展望」の策定（平成24年12月）

- ◇ 国の「第9次卸売市場整備基本方針」を受け、平成23～24年度に市場関係者及び学識経験者や公認会計士、中小企業診断士等の市場外の有識者とともに策定。
- ◇ 市場の特性を踏まえ、また平成27年度の新市場開場を視野に入れ、コンセプト及び7つの目標像を掲げ、それを実現するための具体的な取り組み項目を以下のように定めた。

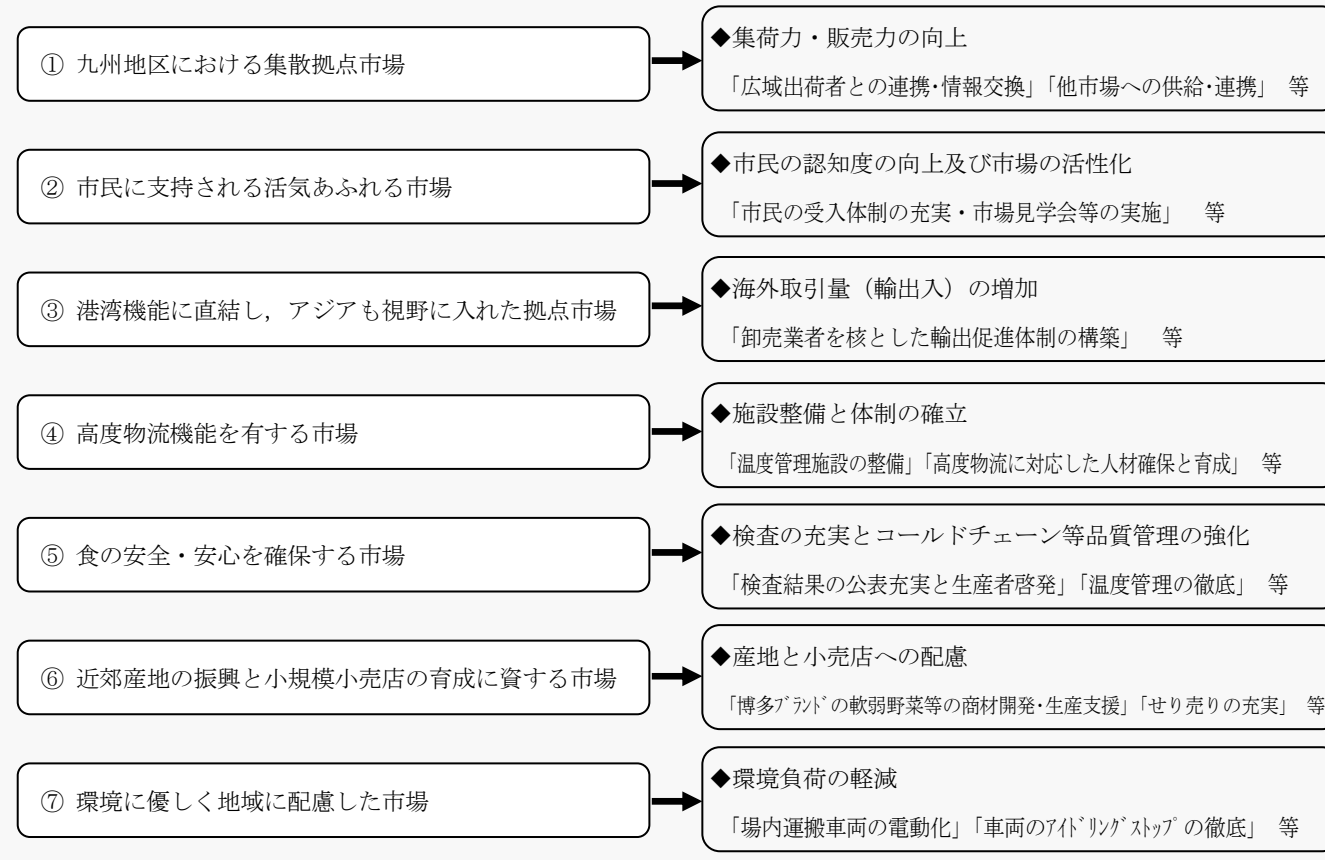
＜青果市場経営展望の概要＞

【新青果市場のコンセプト】

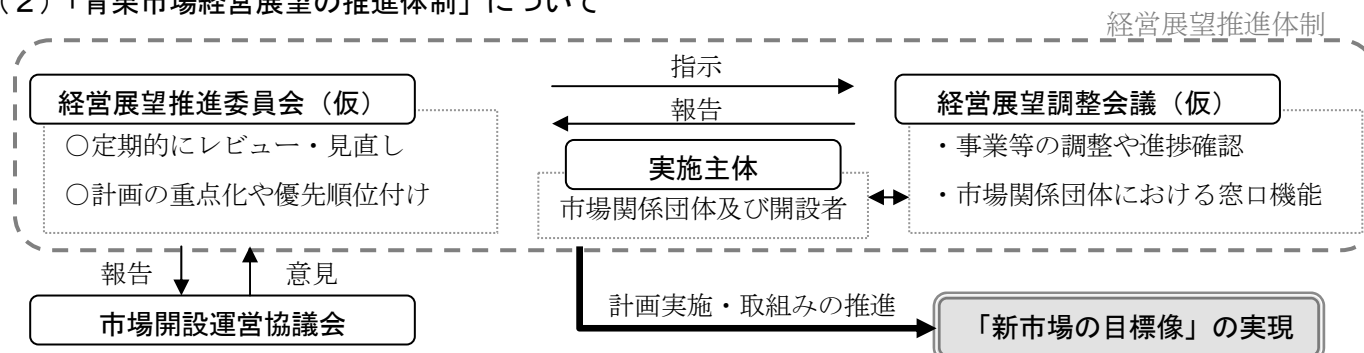
アジアを視野に入れた九州の青果物流拠点・ふくおか～市場ブランドの発信基地をめざして～

【新市場の目標像（基本戦略：平成24年3月策定）】

【取組項目（行動計画：平成24年12月策定）】



（2）「青果市場経営展望の推進体制」について



● 新市場整備についての基本的な考え方及び方向性（ハード面）

- ◇ 新青果市場基本設計でとりまとめた新市場整備の基本的な考え方及び青果市場経営展望におけるハード面での検討内容を踏まえ、以下のとおり施設整備等を進めていく。

考え方	方向性
現状の青果物取扱量と同等の30万トンと設定	年間30万トンの取扱高を想定した施設規模
安全かつ効率化した場内物流と作業環境の向上	効率性や安全性を考慮した施設配置
消費者ニーズへの対応	食の安全・安心を確保
市民に親しまれる施設づくり	市場施設の一部を市民に開放
環境への配慮	低炭素化・環境保全の取組み
将来の流通変化に対応する更新性	施設内部改変に対応可能な施設構造
市場機能の持続	自然災害への対策

＜新青果市場実施設計の概要（平成24年度途中経過）＞（※別紙「新青果市場施設配置図」参照）

（1）施設内容及び施設規模

＜棟毎の概要＞

整備区分	棟名	構造・階数	延床面積（概数）	主な施設等
市整備	卸売場西棟	SRC造・2階	39,981㎡	卸売場（相対）、仲卸売場等
	卸売場東棟	RC造・3階	33,163㎡	卸売場（せり）、仲卸売場、買荷保管積込所等
	市場会館棟	RC造・3階	16,244㎡	関連店舗、関係団体事務室、料理教室等
	その他	—	5,691㎡	買荷保管積込所棟、塵芥集積所、倉庫等
	小計	—	95,079㎡	
業界整備	物流センター	—	9,366㎡	冷蔵庫
	小計	—	1,176㎡	バナナ加工場
合計	—	—	102,643㎡	※施設の一部が重複するため、合計面積は一致しない。

＜主な施設規模＞

区分	新市場の計画面積	現青果市場の面積	増減
卸売場	11,786㎡	11,352㎡	434㎡
（内、定温卸売場）	9,946㎡	1,402㎡	8,544㎡
仲卸売場	11,124㎡	6,086㎡	5,038㎡
買荷保管積込所	18,181㎡	4,976㎡	13,205㎡
冷蔵庫	9,366㎡	5,882㎡	3,484㎡
関連事業者店舗	3,235㎡	3,735㎡	-500㎡

（2）施設整備費（基本設計終了後の概算）

（単位：百万円）

区分	年度別					合計
	H23 基本設計	H24 実施設計	H25 建設	H26 建設	H27 建設・開場	
施設整備費	58	197	742	9,000	8,251	18,248
うち国庫交付金		70	263	3,303	2,814	6,450

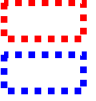



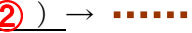



※H23年度は実績額

(3) 新市場整備の主な特長


1. 年間30万トンの取扱高を想定した施設規模

- 九州最大の中央拠点市場
- 新市場における青果物取扱高については、過去10年間の実績や今後の人口推移等を考慮し推計した結果、開場初年度は約31万トン、その5年後には約32万トンとなっており、福岡都市圏の人口増に伴って一定の伸びが見込まれている。また、中央拠点市場としての機能強化によって青果物取扱高の更なる増加が見込まれているが、施設整備にあたっては、コンパクトな施設計画や商物分離取引の伸展など物流の効率化を図ることにより、計画取扱高を現状物流と同程度の30万トンと設定している。
(参考) 青果部3市場の取扱高 29.3万トン (H14~H23年度平均)

2. 効率性や安全性を考慮した施設配置 ー約1,000人が働く市場


- 取引形態に合わせて施設を区分 (配置図 ①) → 
 - ・ 相対取引を中心とした大量物流に対応の卸売場西棟 → 
 - ・ せり取引を中心とした小売業者等に対応の卸売場東棟 → 
 - ・ 異なる営業形態や規模の仲卸店舗を3種類のタイプに分け、各々に対応したゾーンに配置することでフォークリフトやターレットによる荷の運搬 (以下「市場内搬送車両」という。)の横もち動線の短縮化を図る等、効率的な物流動線を実現。 → 
- 場内基幹通路を外側に配置し、基幹施設を中心部に一体的に配置 (配置図 ②) → 
 - ・ 場内主導線として敷地外周部にループ状構内基幹道路を設置し、入荷用通路、卸売場、仲卸売場及び積込所をループ内に機能的に配置し、場内搬出入車両動線を明確化することで、市場内搬送車両との動線の交差を最小限にし、安全で円滑な場内交通を実現。
- 卸売場中央に入荷用通路 (幅員20m, 延長220m) を配置 (配置図 ③) → 
 - ・ 10tトラック20台が同時に荷降し可能となるスペースを確保することで、入荷車両の荷降し場を入荷用通路へ集約化し、円滑な荷降し作業を可能とするとともに、搬入大型車両を集中的に管理することで場内交通の安全性を高める。
- 物流センター (業界自主整備施設) を分散、機能的配置 (配置図 ④) → 
 - ・ 市場関係者の利便性を考慮し、物流センター (冷蔵庫) を北、東、西の3箇所に分散して卸売場に隣接させることにより、市場内搬送車両の横もち動線の短縮化を図る。
- 通勤車両を卸売場東棟屋上に集約して配置 (配置図 ⑤) → 
 - ・ 卸売場東棟屋上に通勤車両用駐車場を集約し、専用出入口及びスロープを設け、物流エリアから明確に分離することにより、物流動線の安全性、円滑性を向上させる。

3. 食の安全・安心を確保 ー約148万市民の台所



- 卸売場等の定温化によるコールドチェーンの充実 (配置図 ⑥) → 
 - ・ 卸売場の大半を密封式の定温卸売場 (業界自主整備) とすることで、品質管理の向上やコールドチェーンの充実を図る。

- 食品衛生検査所による検査の充実
 - ・ 検査設備の充実や検査員の技術向上を図り、検査精度の確保に努めるなど、中央拠点市場に相応しい高い検査レベルによる品質管理に努める。

4. 市場施設の一部を市民に開放 ー市民の認知度の向上及び市場の活性化

- 市場会館棟と多目的広場を一体的に配置 (配置図 ⑦) → 
 - ・ 青果市場の情報発信と活性化のために、市場会館棟内の関連事業者店舗に接続したイベント開催が可能な多目的広場を整備する。
- 見学者通路や料理教室等を配置
 - ・ 市場の役割、機能に対する市民の認知度向上のため、来場者の安全性確保に配慮した見学者通路を整備するとともに、市場会館棟内には食育推進のための料理教室等を整備する。

5. 低炭素化・環境保全の取組み

- 市場内搬送車両の電動化推進のため共同充電設備を設置 (配置図 ⑧) → 
 - ・ 市場活動に伴う十分な数の共同充電設備を設置することで、市場内搬送車両の電動化を推進し、排気ガスや騒音等の発生を抑制する。
- 大規模太陽光発電設備 (メガソーラー) の設置を検討 → 
 - ・ 環境配慮の観点及び近年の再生可能エネルギーに関する市民の関心や社会的要請の高まりに対応するため、新市場の卸売場西棟の南側大屋根への大規模太陽光発電設備 (メガソーラー) の設置について検討する。
- 生ごみ再資源化 (リサイクル処理) の検討
 - ・ 食品リサイクル法に基づき、生ごみの排出抑制及び再資源化を推進するため、生ごみの処理方式等について検討する。

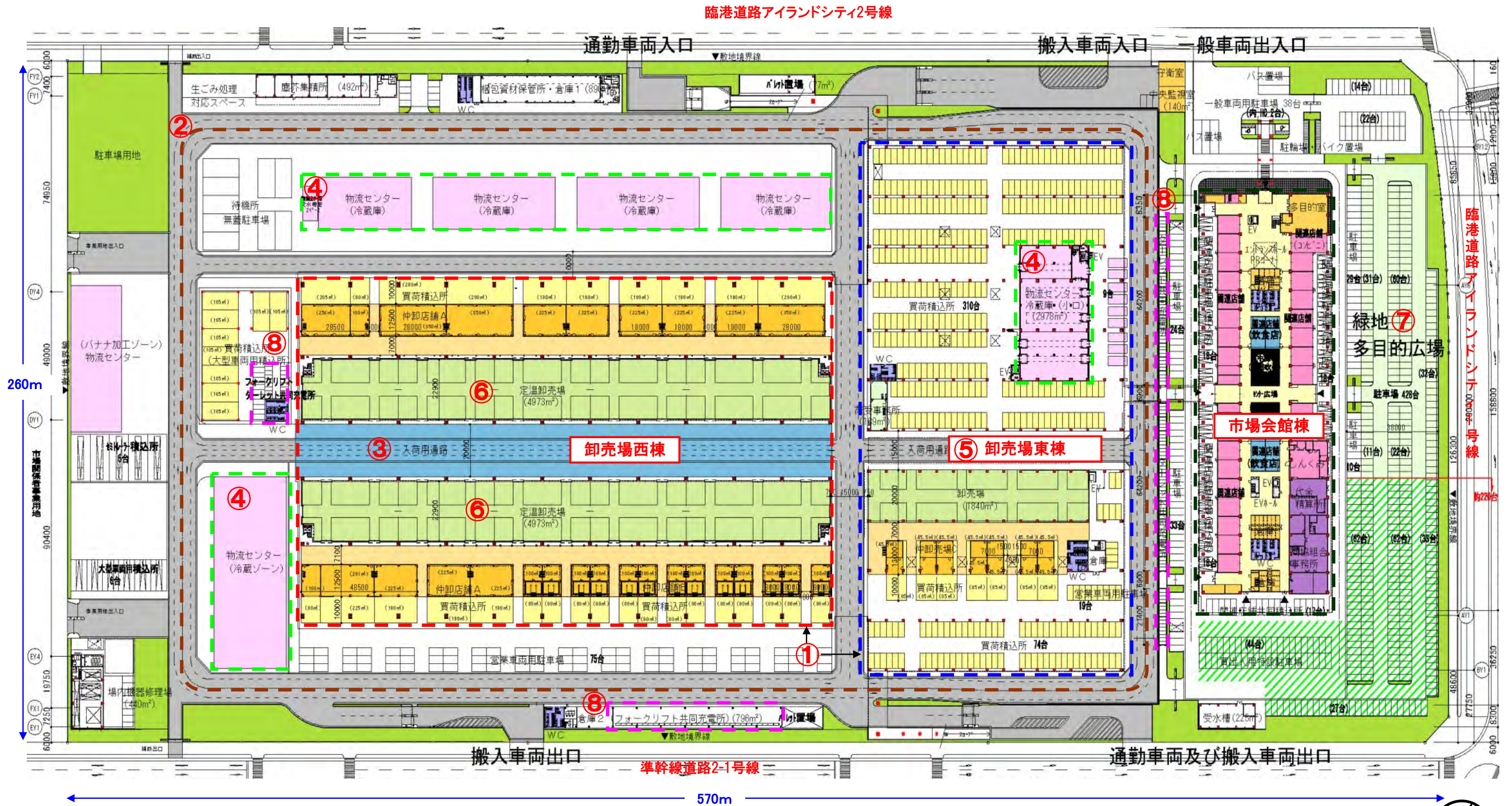
6. 施設内部改変に対応可能な施設構造

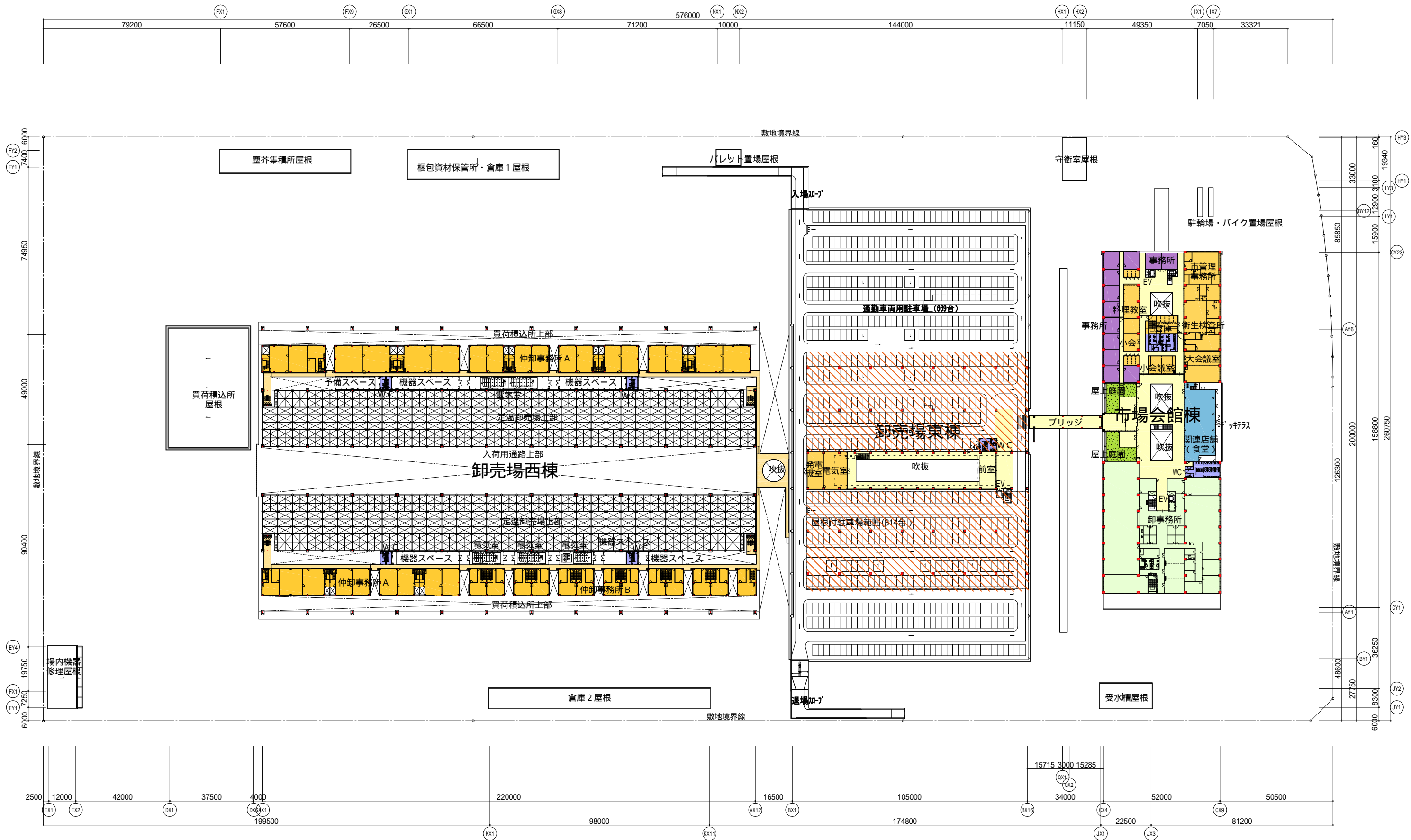
- 将来的な市場機能の変化に対応し、柔軟な施設内部改修等を可能とする施設計画
 - ・ 物流施設の中心となる「卸売市場西棟」については、主構造をロングスパンの大屋根方式とし、内部に定温卸売場や仲卸店舗を屋内屋として設け、将来改変のフレキシビリティを確保する。

7. 自然災害への対策

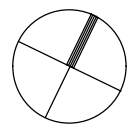
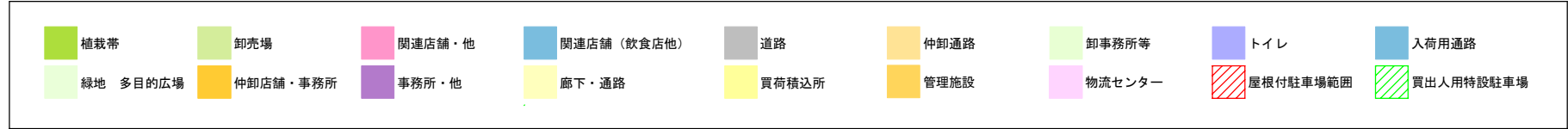
- 主要施設の高い耐震性を確保 (地震荷重を通常基準より25%増)
- 敷地北側への防風フェンス (有孔折板) の設置 (北風対策)

福岡市新青果市場 施設配置図(実施設計)



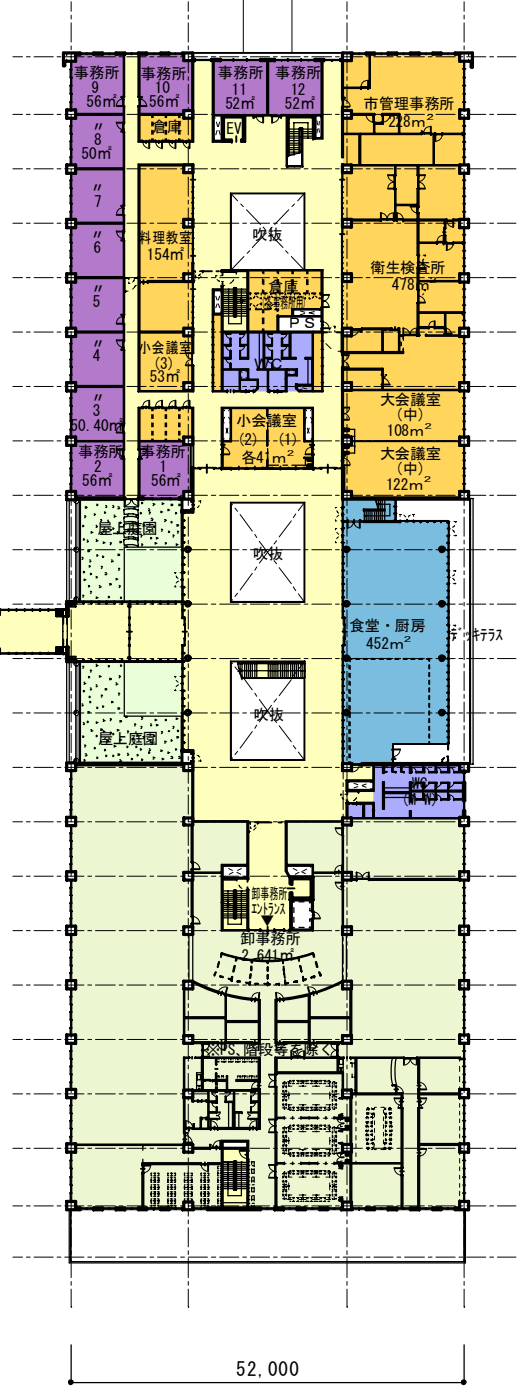


植栽帯	卸売場	関連店舗・他	関連店舗(飲食店他)	道路	仲卸通路	卸事務所等	トイレ	入荷用通路	買出人用特設駐車場
緑地 多目的広場	仲卸店舗・事務所	事務所・他	廊下・通路	買荷積込所	管理施設	物流センター	屋根付駐車場範囲		

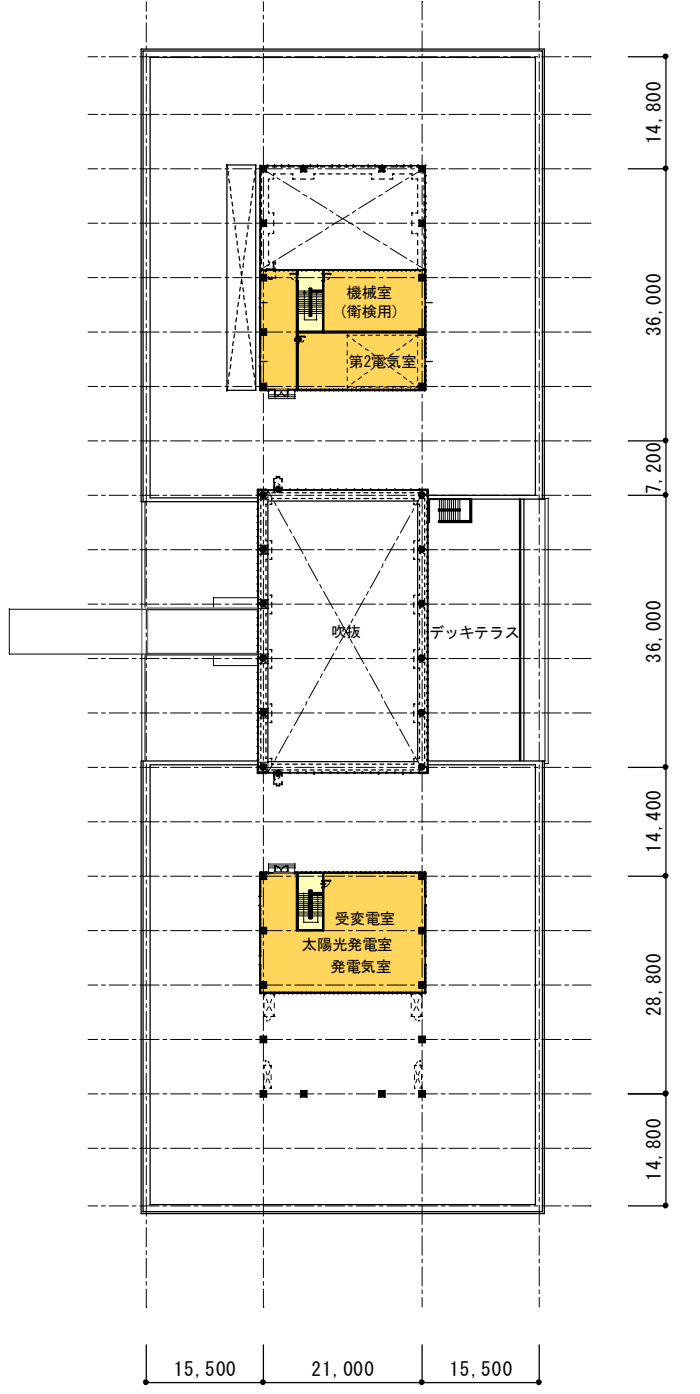


約220台

1階平面図



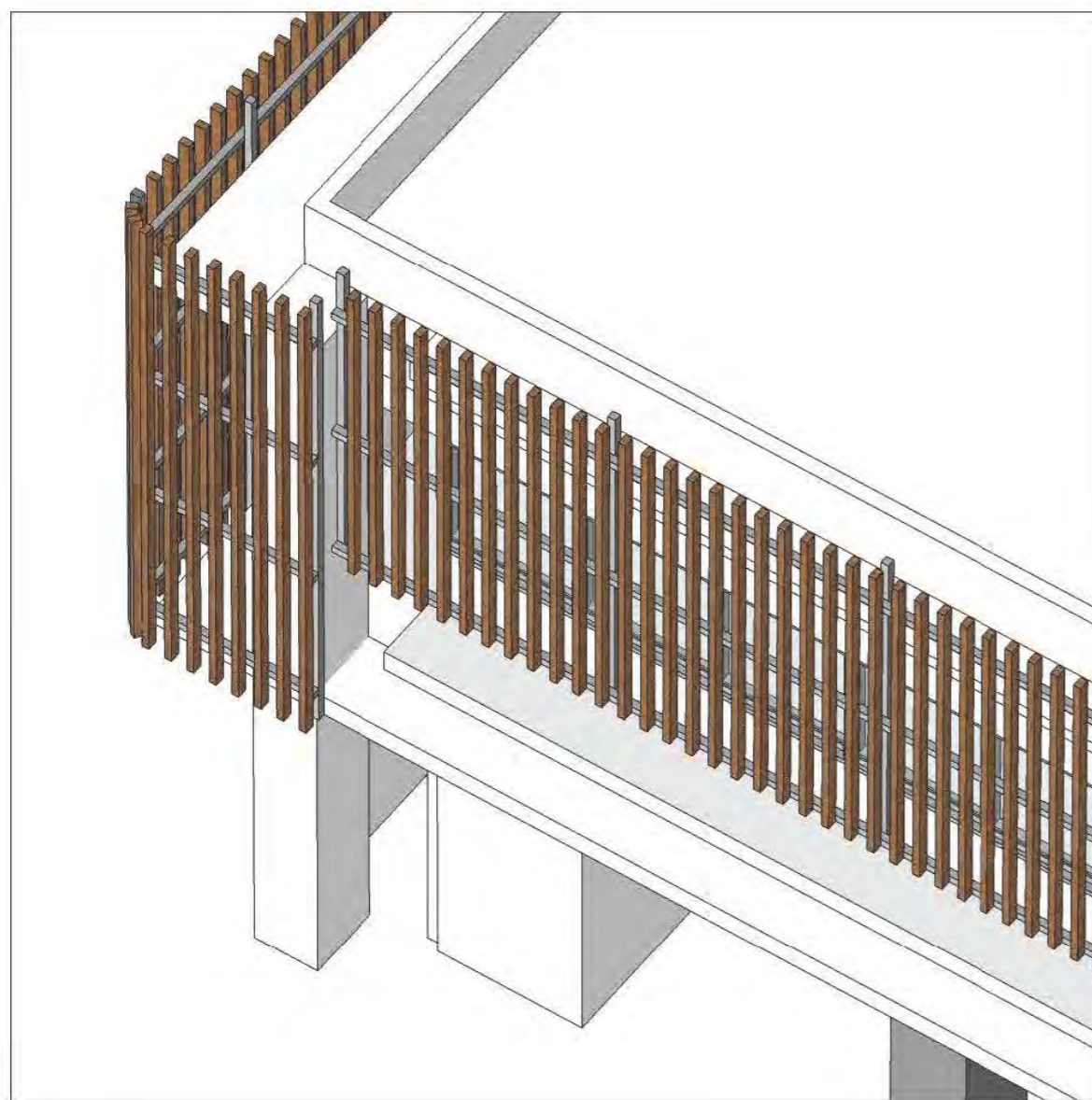
2階平面図



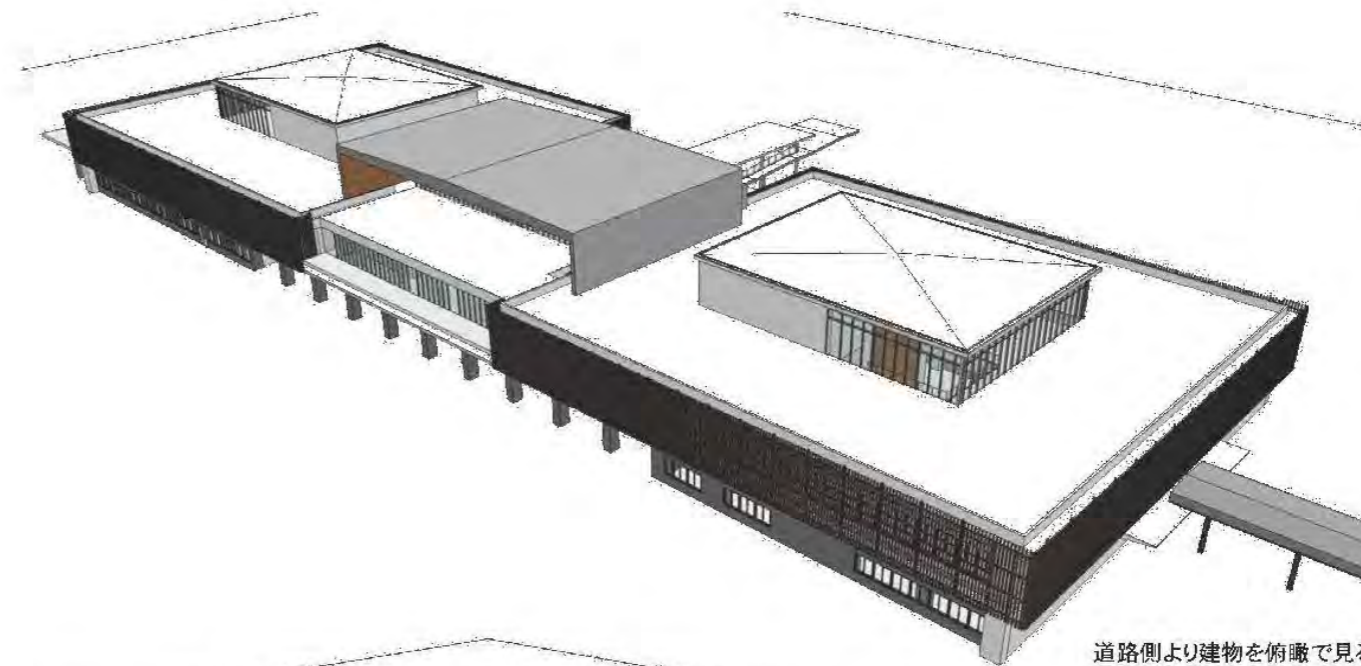
3階平面図



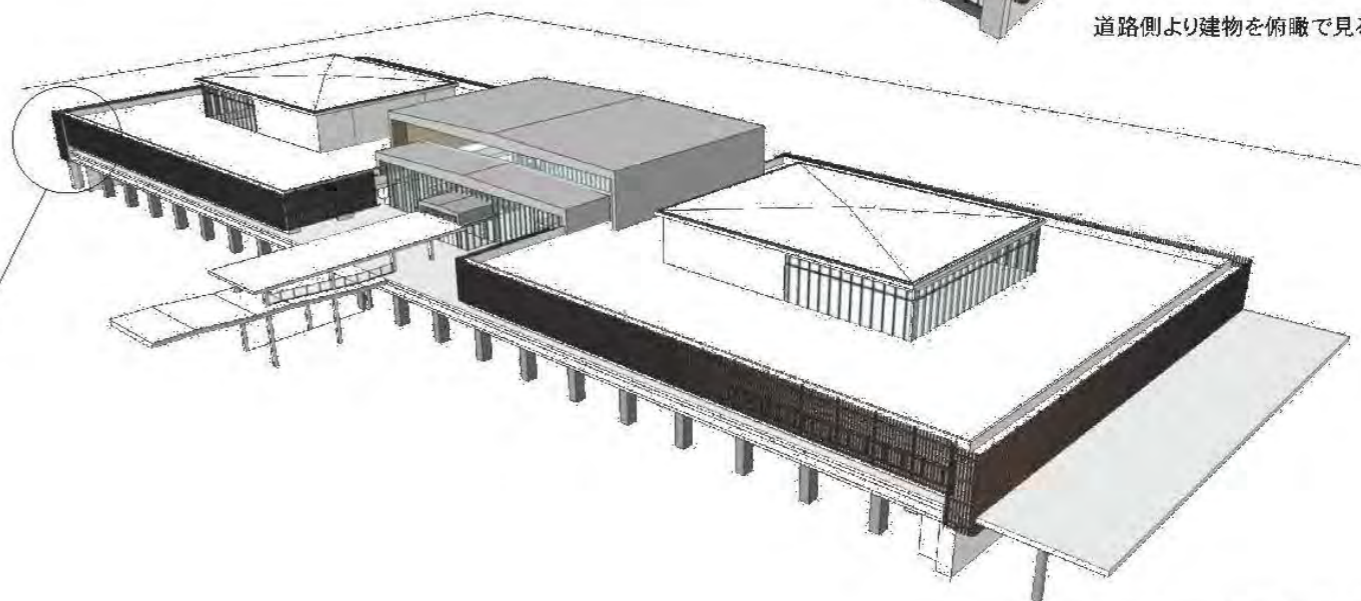
道路側より建物を見る



ルーバー切替部アクセメ図



道路側より建物を俯瞰で見る



市場側より建物を俯瞰で見る



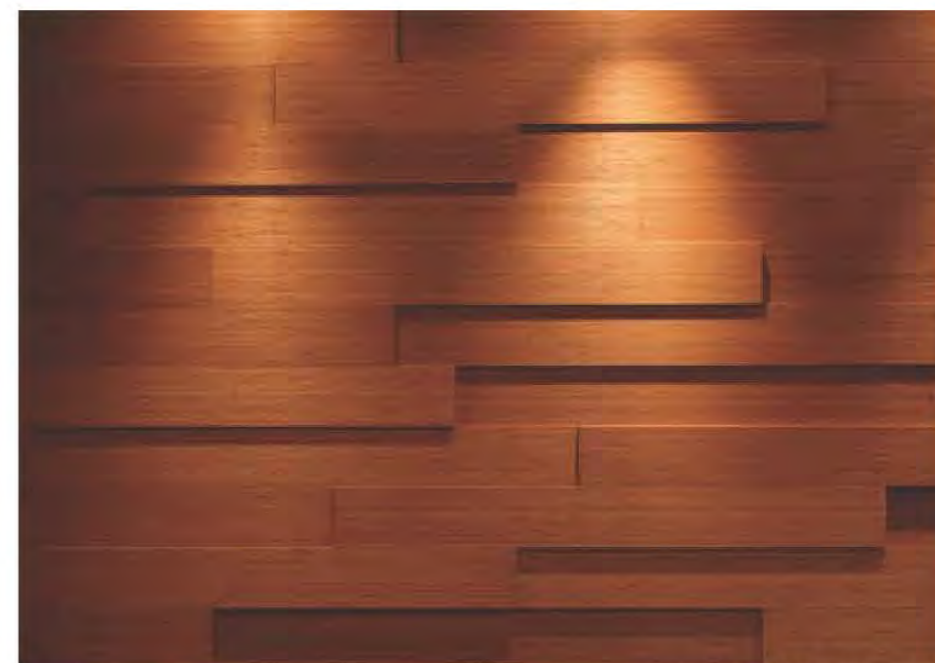
玄関吹抜①



玄関吹抜②

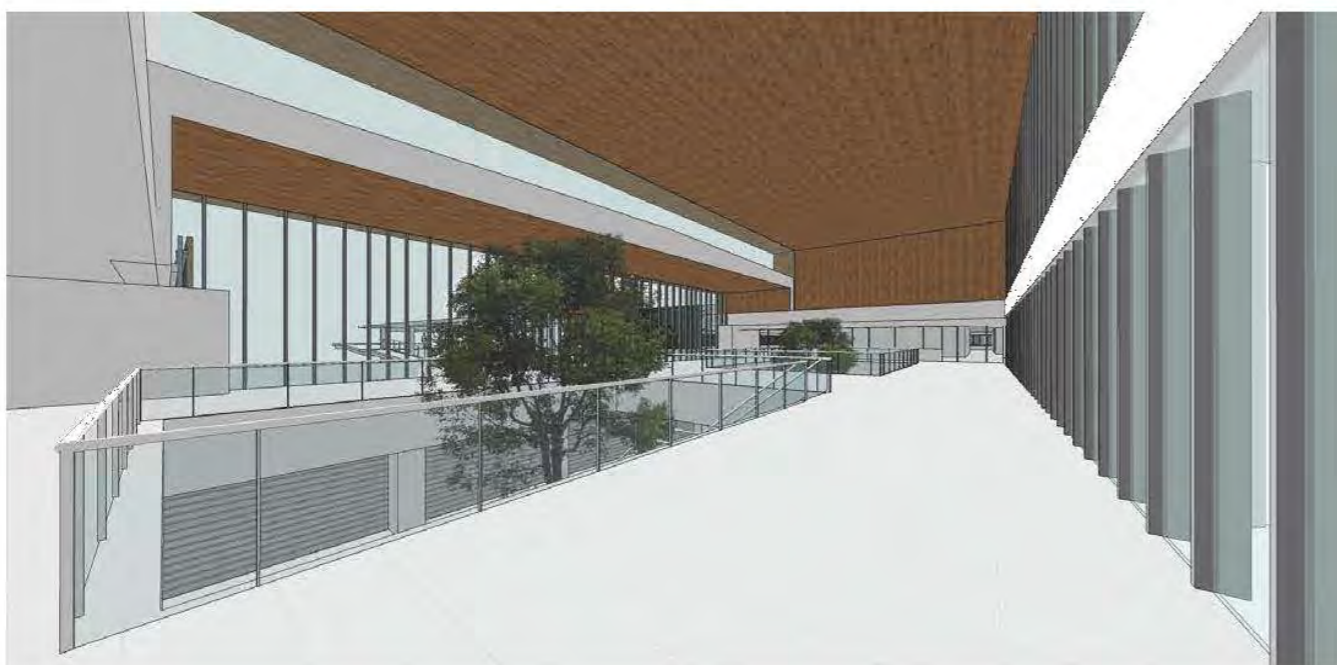


玄関吹抜③



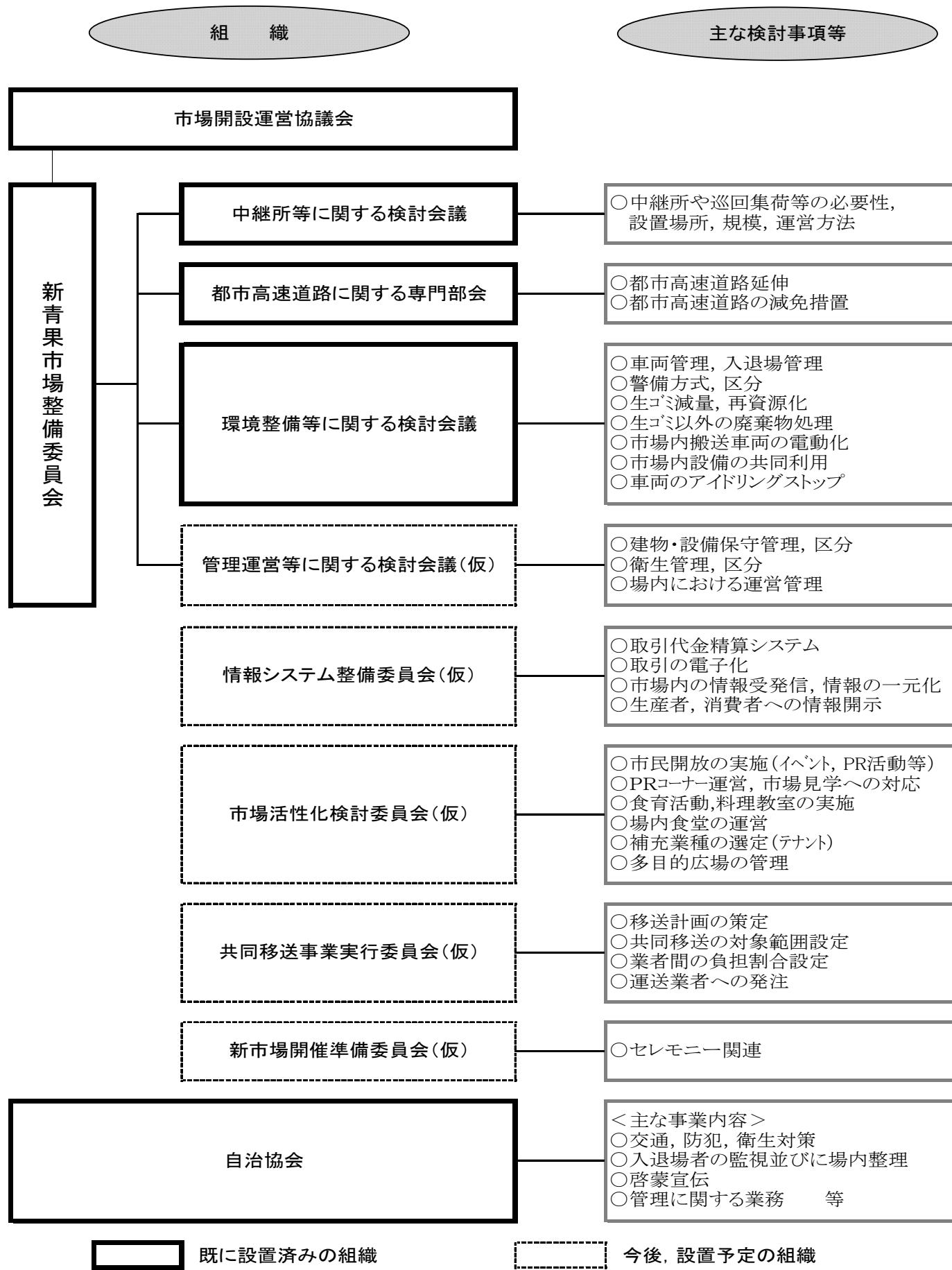
吹抜壁面凹凸仕上げ参考写真

エントランス吹抜イメージ



中央吹抜イメージ

● 新青果市場の管理運営検討について



● 今後の事業スケジュール

	24年度	25年度	26年度	27年度
施設整備	契約 手続 実施設計 建築確認申請	契約 手続 建設工事		開場 準備 開場
都市計画	都市計画決定手続き 9月 → 11月 → 12月 委員会報告 都計審 決定・告示			
事業者用地	分譲用地区画の検討 区画割・取付道路の調整	募集・契約等	土地引渡・工事等	
現市場用地処分	土地活用の予備調査・研究	処分方針・土地活用の検討 処分条件案の作成	跡地処分手続き	
経営展望策定	青果市場経営展望策定 (行動計画, 全体とりまとめ)	短期的取り組みの検討・実施		

平成24年度福岡市中央卸売市場開設運営協議会 委員名簿

(敬称略・順不同)

氏名	選出区分	所属部会
大石修二	福岡市議会議員	会長 青果
妹尾俊見	福岡市議会議員	水産物
笠康雄	福岡市議会議員	青果
江藤博美	福岡市議会議員	食肉
綿貫英彦	福岡市議会議員	食肉
津田信太郎	福岡市議会議員	水産物
谷健二	福岡県農林水産部長	青果
甲斐諭	中村学園大学学長	副会長 食肉
波積真理	熊本学園大学商学部教授	水産物
井出龍子	福岡市消費生活センター消費生活相談員	水産物
中村貞子	福岡市農業協同組合理事	青果
平川真臣	(株)福岡魚市場代表取締役社長	水産物
橋本清実	福岡中央魚市場(株)代表取締役社長	水産物
大野憲俊	福岡大同青果(株)代表取締役社長	青果
花田真也	福岡食肉市場(株)代表取締役社長	食肉

(15名)

(参考資料) 各市場取扱状況

区分	取扱数量(トン)						取扱金額(百万円)						単価(円/kg)						
	22年度 (全期)	23年度 (全期)	前年度比	23年度 (4~12月) (A)	24年度 (4~12月) (B)	(B)/(A)	22年度 (全期)	23年度 (全期)	前年度比	23年度 (4~12月) (A)	24年度 (4~12月) (B)	(B)/(A)	22年度 (全期)	23年度 (全期)	前年度比	23年度 (4~12月) (A)	24年度 (4~12月) (B)	(B)/(A)	
水産物部	生鮮	83,724	78,828	94.2%	60,134	54,048	89.9%	39,588	37,741	95.3%	28,690	26,364	91.9%	473	479	101.3%	477	488	102.2%
	冷凍	7,946	8,307	104.5%	6,451	6,779	105.1%	6,720	6,964	103.6%	5,537	5,392	97.4%	846	838	99.1%	858	795	92.7%
	塩干	5,042	3,806	75.5%	2,935	2,489	84.8%	3,676	2,648	72.0%	2,112	2,179	103.2%	729	696	95.4%	720	875	121.7%
	計	96,712	90,941	94.0%	69,520	63,316	91.1%	49,984	47,353	94.7%	36,339	33,935	93.4%	517	521	100.7%	523	536	102.5%
青果部	野菜	229,152	235,690	102.9%	176,847	186,909	105.7%	41,967	41,107	98.0%	30,143	30,653	101.7%	183	174	95.2%	170	164	96.2%
	果実	60,969	64,331	105.5%	50,164	54,025	107.7%	16,702	17,467	104.6%	12,949	13,966	107.9%	274	272	99.1%	258	259	100.1%
	鳥卵	1,084	891	82.2%	677	641	94.7%	266	211	79.3%	164	148	90.2%	245	237	96.5%	242	231	95.3%
	計	291,206	300,912	103.3%	227,688	241,575	106.1%	58,935	58,785	99.7%	43,256	44,767	103.5%	202	195	96.5%	190	185	97.5%
食肉部	成牛	7,243	8,158	112.6%	6,369	6,735	105.7%	8,876	10,114	113.9%	7,962	8,609	108.1%	1,225	1,240	101.2%	1,250	1,278	102.3%
	豚	9,692	10,272	106.0%	7,659	7,543	98.5%	4,300	4,536	105.5%	3,486	3,207	92.0%	444	442	99.5%	455	425	93.4%
	その他	2,693	2,766	102.7%	2,112	2,226	105.4%	637	653	102.5%	517	443	85.7%	237	236	99.8%	245	199	81.3%
	計	19,629	21,196	108.0%	16,140	16,504	102.3%	13,812	15,303	110.8%	11,965	12,259	102.5%	704	722	102.6%	741	743	100.2%

(注1) 単位未満四捨五入のため、計と一致しないものがある。

(注2) 食肉部の「その他」は、副生物(内臓)、部分肉等。